

# ちいき人権 World

発行  
2024年度 夏号(No.115)

発行：世界人権宣言八尾市実行委員会  
委員長 土田 紀康  
連絡先 TEL 072-924-9853  
FAX 072-924-0134  
編集：「ちいき・人権・World」編集委員会

## かっぱのかわたろう語訳 子どものけんりじょうやく

人間界で暮らす「かっぱのかわたろう」の生活を通して、子どもに伝わりやすい言葉で、子どもの権利条約が学べる1冊です。



ご希望の方は八尾市人権協会に…

- A. 直接取りに来る…事前に、来れる日程と欲しい部数をご相談ください
- B. 郵送依頼…電話でご確認の上、①②③のいずれかを八尾市人権協会まで送ってください
  - ①切手 ②レターパック (10冊入ります)
  - ③スマートレター (6冊入ります)



リニューアル  
しました

無料



1冊 B5 サイズ 55g 本文 48 ページ

### も く じ

- 2 P..... はじめての女性福祉新法設立にあたって  
みんなで考えよう！
- 4 P..... 困難な問題を抱える女性への  
支援に関する法律が施行されました
- 5 P..... 2024 年度世人やお総会&学習会開催
- 6 P..... 世人やお加盟団体でも総会開催
- 8 P..... つなぐ支援を考える
- 9 P..... 『すみれブックフェア』と  
『脳トレ クイズラリー』の開催
- 10 P..... 親子のココロを軽くする性教育講座  
/ 八尾市人権啓発推進協議会「人権宣言」
- 11 P..... 白根さんと考えよう！世界の人権 48
- 12 P..... うーさんのおすすめ本
- 13 P..... 新共有する時間は…part59
- 14 P..... 気ままにおしゃべりシネマ57
- 15 P..... 勝手にきゃらふる 79
- 16 P..... まちがいがしがし②  
/ インフォメーション

# はじめての 女性福祉新法設立にあたって みんなで考えよう！

NPO 法人 KARALIN

第 18 回定例総会を行いました。

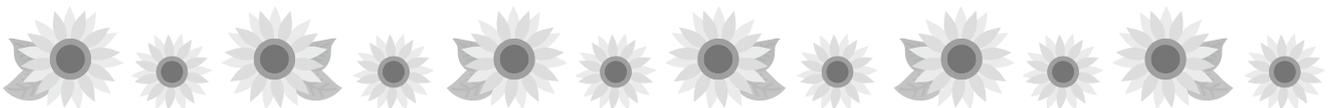
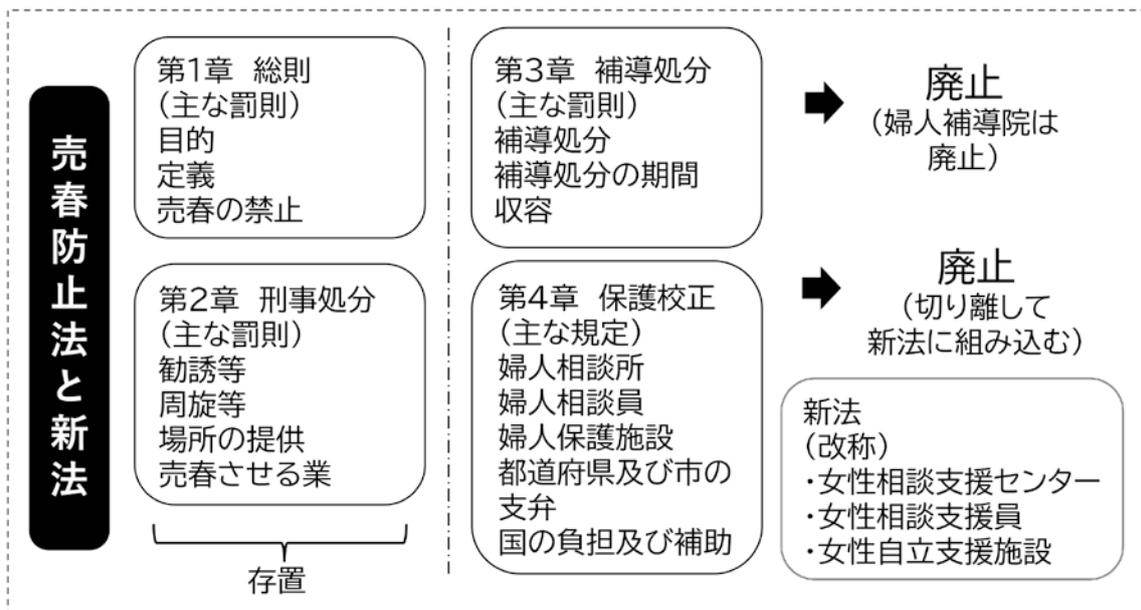
総会では、滞りなく議事が進行し、すべての議案が承認されました。コロナ禍が開けた 2022 年度から始まったプレイデイの展開を楽しみに、2024 年度もさらに「人権」をベースに、学びを深め意識のアップデートを続けていくことを挨拶としました。

引き続きの学習会では、女性相談員をされている方にお越しいただき、2024 年 4 月 1 日に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」について、援助の実践も交えてお話しいただきました。まずは、法律の成り立ちから教えていただきました。1956（昭和 31）年にできた売春防止法には、規制の不十分さや被害者保護の視点がないことで、女性たちが困



難から抜け出す支援にはつながらないうえ、法律の抜け穴を通ったインターネットを利用した売春など、問題点が浮き彫りとなり、ようやく法改正となりました。新しい「困難女性支援法」は、福祉の視点から女性のための「福祉新法」なんだとおっしゃっていました。

取り組みにより、売春に従事する女性が直面する問題の一部をカバーすることが期待されて



## 新法のもつ福祉の視点

### 支援の提供

困難な状況にある女性に対して、生活支援やカウンセリング、職業訓練などのサービスを提供します。

### 保護と避難所の提供

虐待や暴力からの保護や、一時的な避難場所の提供を含みます。

### 再統合の支援

社会復帰を目指すためのサポート、例えば、住宅の提供や再就職支援など

います。特に、被害者保護の強化や再就職支援に関する措置が、売春防止法の問題点を補完する形で機能する可能性があります。しかし、現実的には、法律の適用範囲や具体的な実施方法により、その効果が左右されることも考えられます。誰がどう動くか、動けるかの仕組みを作ることが重要だと思いました。

ある市では区ごとに女性相談員が2名体制で配置され、細やかな伴走型の支援を行っているそうです。暴力にあったり、障害があったり、様々な理由で力を奪われた状況に置かれたときに、複雑な行政手続きをしなければならなかったり、新しい場所に引越して新生活をスタートさせる時など、なかなか一人では動きが取れない時に、サポートしてくれるのが女性支援員です。次の機関に渡してしまうのではなく、築いた信頼関係を活かし継続的なサポートできる強みがあるとお話いただきました。

特に、パートナーからの暴力で力を奪われている女性が多く、暴力にも様々な形があると言うことで、身体的な暴力はわかりやすいけれど、被害者自身が被害を受けていることに気がつか



八尾市 女性のための相談窓口

ないこともあり、支援の難しさを感じました。

講座後、少し調べると、すでに先進的な取り組みをしている具体例もありました。八尾市のホームページでは、女性のための相談窓口がまとめられていました。相談したらどこにつながるのか、どんなサービスがあるのかもっと知りたいと思いました。サービスがなければ欲しいと思います。

総会では運営を考え、学習会ではたくさんの知識と気づきをいただき、交流会では親睦を深め、八尾で必要な事や自分たちにできることを考えました。この1年の事業を進めるにあたり力が湧いてくる総会となりました。

## 学習会参加者の感想

- ・新法の施行までに66年もかかっていることに女性の人権があまりにも軽視されていたことに驚かされます。市によって大きく対応が違うことも今回知ることができました。若年女性に限らず、複合的な困難や孤立を抱える女性が多いと思います。「民間が初めて行政が継続する。」なるほどですね。つながっていきましょう。
- ・職場で、実際にDV被害の親子さんの話を聞いて、離婚・別居に向けての話を聞いたりしましたが、あちこちで話をしたり大変だったんだろうとあらためて思いました。この新法をきっかけにどんどん充実していけばいいなと思います。
- ・女性の人権があまりにも放置されてきた現実を、この「困難な問題を抱える女性への支援に

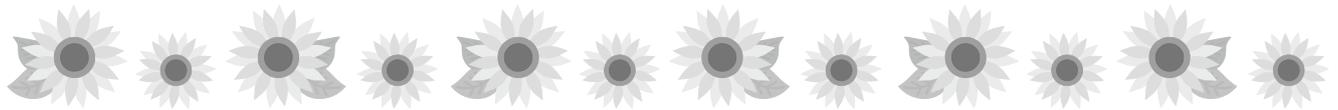


関する法律」の成立過程をきくたびに怒りを覚えていましたが、福祉的な視点で、しっかりと一人ひとりのニーズに寄り添える女性相談支援員の配置を八尾市でも早急に配置して欲しいと思いました。

- ・とっても勉強になりました。女性相談員を15年も続けておられることに尊敬を感じます。女性であるが故に重層的な困難を背負わされた人々には伴走型支援が絶対に必要だと思います。
- ・知らなかったことを知れました。被害者である

女性がすべて捨てて逃げなければならない。歯がゆいことがたくさんでした。これから八尾市もさらに相談しやすくなっていくようお願いいたします。

- ・女性の人権がどれだけ軽んじられているのか、気づいてなかったことも知り、同じ女性としてできることがあると思いました。八尾でどのような運動ができるのかまた仲間と話し合っていきたいと思っています。



## 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されました

配偶者間の暴力（DV）や生活困窮、性被害などの困難を抱える女性を支援するための新しい法律「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（以下、困難女性支援法。）」が今年の4月1日に施行されました。

これまで、困難な問題を抱えた女性への支援は、売春を行う恐れのある女性の「補導処分」や「保護更生」を目的とする売春防止法を根拠に行われてきましたが、女性の抱える問題が複雑化、複合化していくなか、女性たちの実態とかけ離れたものになっていました。さらにコロナ禍では、支援を必要とする女性がなかなか支援につながらない実態も浮き彫りになりました。

配偶者間の暴力（DV）は経済的な問題やこどもの問題から、被害を受けていても逃げられないというケースも多く見受けられます。また、売春は騙されて従事させられたり、生活困窮でやむなく追い込まれたりするケースも少なくありません。

そこで、新しい困難女性支援法では、「女性の福祉の増進」や「人権の尊重・擁護」「男

女平等」などを明確に規定し、経済的困窮、DVや性暴力被害など様々な困難な問題に直面することが多い女性を取り巻く現代的課題をカバーし、売春防止法の「更正」から、対象となる女性を拡大し「寄り添い支える」ものに転換しています。

新法が施行されたことで、問題を抱えながらSOSを出せずにいた女性たちが相談や支援につながり、自立へ向けた第一歩が踏み出せるように積極的な活用が望まれます。

### 相談できる場所があります

厚生労働省では、困難女性支援法に基づき、DVや性暴力といったさまざまな困難を抱える女性のための支援ポータルサイトを設置しています。支援情報や各自治体の無料相談窓口を掲載中です。今、支援が必要なあなたの「味方」が見つかります。

あなたのミカタ



# 2024 年度世人やお総会 & 学習会開催

6月3日、2024年度総会及び学習会を開催しました。

ウクライナ侵攻から2年以上が経過しました。国連総会では、2年連続で141か国の賛同を得たロシア侵略非難決議案の提出自体が見送られ、この問題に対する国際社会の視線が長期化によって変わりつつあります。ウクライナでは、ロシアの攻撃により1万人以上の民間人が犠牲となり、多くの罪のない人々の命が奪われています。

また、昨年10月7日以降、イスラエルによるパレスチナガザ地区への侵攻が続き、停戦の兆しも見えていません。ガザ地区の保健省によれば、この侵攻で3万人以上の住民が死亡し、犠牲者の7割以上が女性や子どもであると報告されています。この状況に対する見解はさまざまですが、現在のガザ地区が「天井のない監獄」と形容され、イスラエルによる攻撃はジェノサイドとの指摘もあります。

戦争は最大の人権侵害であり、人が人を殺める行為にはどのような理由があろうとも「NO!」と断じることが求められます。「世界人権宣言」が採択された経緯をふまえ戦争を起こさないための取り組みが求められています。

このような認識に基づき2024年度も八尾市、八尾市教育委員会との共催事業である世界人権宣言パネル展（9月2日）とひゅーまんフェスタ2024（11月15日・16日）をはじめ、各助成事業、せじ〜ん76、機関紙「ちいき・人権・



world」の発行等に取り組むことが確認されました。

また、今年は子どもの権利条約に日本が加入してから30年という節目の年にあたります。世人やおでは、昨年度『こどものけんりじょうやく（かっぱのかわたろう誤訳）』を発行し（表紙参照）、今年度に入り八尾市内小・中学校へ配布しました。

総会後の学習会では、NPO法人KARALINによる「子どものけんり なんてやねん！ すごろく 大人体験！」を実施しました。

## 「子どものけんり なんてやねん！ すごろく 大人体験！」 体験者の感想

・すごろくがとてもよく考えられていて、おもしろくアクティブな学びの機会になりました。子どももですが、大人が子どもの権利を学ぶ上でとても良いツールですね。

・今の子どもたちもとくに悪口でたくさんの理不尽なめにあっているのだと感じました。自分の頃を思い返す機会になり、時代に関係なく、権利を自分のものとして捉えられることが大事だとつくづく思います。

・1994年に批准して30年。けれど大人にも子どもにも知



られていない「こどもの権利条約」。何でも後回ししていて、とうとう出生数が80万人をきってしまった。生まれてくる一人ひとりのこどもの最も良いことを考える大人をいっぱいにしていきたいと改めて感じました。

・「なんでやねん」の子どもの心の叫びがぐさぐさってきました。我が子の権利を守れていなかったことに気づかされました。



## 世人やお加盟団体でも総会開催

世人やお総会を前後し、加盟団体でも総会が開催されています。  
一部報告いただきましたのでご紹介します。

### 八尾市人権教育研究会 総会

5月28日（火）に、プリズムホール小ホールにおいて、八人研総会を開催いたしました。当日は大雨でしたが、283人の参加を得て、昨年度の活動のあゆみおよび会計決算報告、本年度の役員体制ならびに活動課題・事業計画・予算などが承認されました。

新役員を代表して、石田隆志会長（西山本小学校校長）が、本市では、一人ひとりの子どもに寄りそった人権教育が積み重ねられてきたこと、今後さらに、さまざまな立場や背景を抱える子どもたちの現実から出発し、八人研が培ってきた人権教育を基盤に据えた学校教育を進めていく必要があることを訴えられました。

実践報告では、白坂大祐さん（桂小学校）より、「朝から学校行きたいねん」と題して、ご報告いただきました。

欠席や遅刻が多く、朝から登校することが難しいA。また、クラスの仲間もAのことを気にしながらも、どこか人ごとで、かかわりやつながりが弱いように感じていた学年当初。課題の背景をみとり、学校生活の中でAとまわりをつなげ、周りからもAに対してかかわりをふやすことが大切だと考え、とりくみをスタートさせました。

地域学習、運動会、こども園との交流、人権学習発表会などのとりくみをとおして、Aに変化があらわれます。特に人権学習発表会の練習では、休み時間に友だちと覚えた台詞を言いあう、まちがえたら笑い、仲間と一緒に何度も何度も練習するなど、まわりとのかかわりもふえ、つながりが強くなっていきました。そして、涙を流しながら言った「朝から学校行きたいねん」の本音。その本音に対して、白坂さんも本気でむきあうことでAが登校できるようになりました。Aだけでなく、すべての子どもたちにとって学校は安心安全な場所であること、友だちとの人間関係づくりを見守っていく大切さ、課題の背景をみとること、子どもたちにつけたい力を明確にしたとりくみを進めていく必要性を改めて感じました。



新役員



活動課題案を提案する事務局

## 八尾市在日外国人教育研究会 総会・記念講演

第33回八尾市在日外国人教育研究会総会・記念講演が、5月14日(火)、高美南小学校講堂で124名の参加を得て開催されました。総会の議事は、書面で審議いただき、活動課題・事業計画・予算案等について、すべて承認されました。今年度、会長には、大正小学校の小櫻満香校長が就任いたしました。

記念講演では、とんだばやし国際交流協会理事・大阪教育大学の北川知子さんに「『ちがいを豊かに』って?」と題してご講演いただきました。自分自身に刷り込まれている「無意識の偏見」や「『あたりまえ』の価値観」について問い直すことができるお話でした。

まず、見た目や思い込みで決めつけてしまっている「ステレオタイプ」が人間にはもともと備わっているとのお話があり、無意識的に判断していることが自分自身にもあると気づかされました。また、「『マジョリティ』とは、気にしなくてすむ人」というお話では、レイシャルプロファイリングなどの差別の実態やマイクロアグレッションの例が挙げられていました。さらに、「将来の夢を『職業』で語らせることの暴力性」についてもお話があり、国籍条項や在留資格な

ど、わたしたち教職員が知っておかなければならないことはたくさんあると改めて実感しました。教職員であるわたしたちは、『NO(いやだ)!』と言える子どもたちを育て、そして、その『NO』を受けとめられる存在になっていく必要があると確認できました。

講演後、参加者からは、「本当に自分の言動が、児童や保護者を不安にさせていないか、傷つけていないか、自分自身に問い直し改めていくことが第一歩だと感じた。」「子どもたちの背景や社会の現状(存留資格や国籍要件)をおとなが知らなければ、子どもたちの希望をつぶしてしまうことになる。子どもたちの希望を叶えられる社会をつくっていききたいし、子どもたちが社会を変えられるように育てていきたい」など、これからの実践の中で大切にしていきたいことが出されました。



---

## NPO 法人トッカビ 2024 年度定時総会

6月7日(金)、八尾市プリズムホール研修室にて開催しました。トッカビは1974年の設立から今年で50年を迎えます。2024年度事業計画では、50周年記念事業としてオンライン講座ならびに8月31日(土)に記念式典、イベントを開催することが盛り込まれました。

また、助成等活用事業では、積水ハウスマッチングプログラム事業を活用し、外国ルーツの主に小学生高学年以上を対象にした「一人ひとりに目を向けて『トッカビ探検隊』プロジェクト」の取り組み。さらに、大阪公立大学「E(Equity: 公正) & J(Justice: 正義) ART」人材育成プログラム事業の実践課題現場の一つとしてトッカビが選定され、アートを媒介に公平・正義に

取り組むコーディネーター人材の育成を目的としたコラボ事業に取り組むことが確認されました。

総会終了後には、トッカビ理事でもあり、公立小学校で日本語指導経験もある孫弘樹さんから「小学校で日本語指導を経験して、公立学校における日本語指導のあり方を考えた」をテーマに、お話をしてもらいました。

日本語指導が必要な外国ルーツの子どもたちは増えてきています。その対応についての仕組み作りは徐々に整備されてきています。しかしながら、まだまだ現場教員のマンパワーに頼らざるをへない部分もあるようです。今後どのような仕組み作りが必要なのか、示唆にとぶお話でした。

---

---

## NPO 法人自立生活センターやお 2024 年度総会

6月8日(土)八尾市プリズムホール会議室1にて開催されました。総会后、第2部では、『亜由未が教えてくれたこと』(NHK厚生文化事業団ETV特集)の上映会が開かれました。

2016年に起きた「相模原市障害者殺傷事件」。19人の尊い命を奪った犯人は「障害者是不幸を作ることしかできない」と語りました。『亜由未が教えてくれたこと』は、事件を受け「障害者是不幸でないことを伝えたい」と、ほとんど言葉を発することができない重度障害者で3歳下の妹を理解しようと26歳になるまで一度も介助したことがないNHKディレクターの川野さんが、その様子を撮影したものです。

妹の介助を通じて、障害者を育てる家族の声音、大変と不幸は違うこと、共に生きる幸せとは何かを映像を通じて伝えるものでした。

川野さんは、「障害者が生きる価値がないと言わせるのは、障害者に問題があるのではなく、社会の問題」と伝えます。優生思想に基づく差別意識、障害者に対する人権侵害事象は、まさに社会の側の問題であることを改めて認識させられました。加えて、大変と不幸はまったく違うものですが、国や自治体での障害者施策の不十分性が、家族の介助負担や親亡き後の不安を作り出していることも映像を通じて考えさせられました。

---

---

## CAP プロジェクトやお学習会「つなぐ支援を考える」

2024年5月11日(土)八尾市プリズムホール研修室にてCAPプロジェクトやお主催の学習会を開催しました。講師に、ひとりぼっちにさせへんプロジェクトのたむけん先生こと弁護士田村健一さんを招き、東横とグリ下に集う居場所のない若者支援の経験から、若者をとりまく厳しい現状についてお話していただきました。

東横やグリ下が、家や学校に居場所のない若者が自身のしんどい体験を言い合える場になっているそうです。SNSで情報が溢れているせいで、遠方から家出してくる子どももいます。特に女の子はOD(オーバードーズ)や売春の問題が大きく、いかに早く見つけ出して支援できるかが鍵だとおっしゃっていて、現在進行形で続いている支援の声を聴き、SNSの中の話ではなく、よりリアルに感じました。

後半は、今の現状や今からできる支援について、参加者で付箋で出し合い共有しました。NPO団体や行政など、いろんな立場の方が参加していたので、八尾市でなにができるか、深く話せたように思います。支援者側もSNSを上手に使って、支援者同士も繋がるのが大切だと痛感しました。

### 学習会参加者の感想

・親学習だけをするのではなく、親をエンパワメントできる場づくりも大事だと思う。話の中では、自分の生活環境の格差と、誰にでも起こりえるグリ下への仲間意識など2極面があったと思う。小学校入学からの学校が教育と福祉面をしっかりと理解して社会で子どもを育てることの意識を持つことを徹底したいと思いました。

・自分にできることは何か?と考えていきます。今すぐ行動できることもあると感じています。「マッチング」という言葉が響きました。家でもっている若い子達も知っています。ネットに強い子もいるのでSNS部門作って協力してもらえないかなあ。

・自分の子どもが不登校なので、グリ下のことは他人事じゃないなあと思います。支援者というより、今日は当事者寄りの気持ちで聞いてしまった気がします。

親支援も必要。支援者のあつい想いに疲れることもあります。合う合わないがありますもんね。合う場所につながれる様ヨコのつながりが大事だと思いました。

八尾市立図書館と八尾市男女共同参画センター「すみれ」とのコラボ企画  
『すみれブックフェア』と『脳トレ クイズラリー』の開催(申込不要)

開催日時：2024(令和6)年7月26日(金)～8月30日(金)(ブックフェアは8月28日まで)

『すみれブックフェア』は、八尾市立図書館内において、男女共同参画に関する図書を集め、特集コーナーを設けています。この機会に、男女共同参画社会の実現に向け、考えてみませんか。

『脳トレ クイズラリー』は、図書館とすみれにあるカードを2枚集め、クイズの答えを考えてください。正解した方には、「すみれ」でプレゼントをお渡しします。



※図書館に置いてあるカードは、全館同じカードになります。

問合せ：八尾市男女共同参画センター「すみれ」

電話：072-923-4940



▼男女共同参画に関する図書の紹介 ※近くの図書館にない場合、図書館で予約してください。

『家事は大変って  
気づきましたか?』

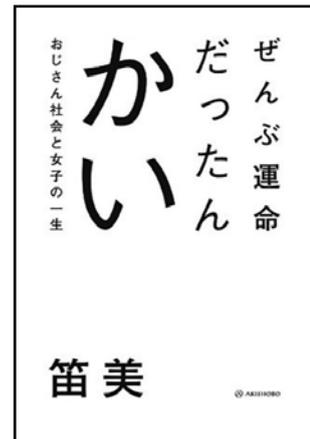
阿古真理・著  
亜紀書房



生活する上で全ての人に発生する「家事」や「ケア」がなぜ女性の仕事とみなされるのか?明治から令和まで各時代の暮らしと流行を豊富な資料で読み解き、女性がかかえこんできたモヤモヤの原因を探る。

『ぜんぶ運命  
だったんかい  
おじさん社会と  
女子の一生』

笛美・著  
亜紀書房



男性中心の業界で働き続けた20代。容姿で判断されたり、会議で意見が通らなかったり、男性との賃金格差など、なんだか辛くて生きにくい。ひとりの女性がフェミニズムと社会活動に目覚めるまで。

すみれカフェ

●令和6年8月20日(火) 14:00～15:00

「家族のケア経験について語ろう～同じ経験がある仲間と繋がりませんか～」

●令和6年9月26日(木) 11:00～12:00

「人生100年時代を考える」

女性相談員がファシリテートする、安心・安全な少人数のグループ対話です。

飲み物・おやつ付きです!お子様連れでもお気軽に参加ください。



問合せ：八尾市男女共同参画センター「すみれ」電話：072-923-4940

詳細はこちら

## 親子のココロを軽くする 性教育講座

2024（令和6）年5月24日・27日の2日間に分け、発達段階に合わせた性教育について保護者、教育関係者向けに性教育講座を開催しました。講師は、性教育講師のみっちーさん。

思春期になると、性の話は聞いてくれないことが多いので、インターネットなどから誤った情報を得る前に、こどもの頃から、恥ずかしがらず・はぐらかさず伝えることが大切だと伝えていただきました。

また、親もできることをできる範囲で無理せず伝えることの大切さや、絵本を使って遊びながら伝えていくことなどについて、丁寧に教えてくださりました。

### 【参加者の意見】

- ・乳幼児版と両方受けましたが、発達段階に即していてなるほどと思いました。公教育でできていない所をしっかりと学べる他の場が必要だと思いました。
- ・無理なく始められる方法、もし伝えられないと思ったら誰かに頼むということを知り、頑張り過ぎなくていいんだと思えました。
- ・これから何をしていけば良いか分かりました。紹介された本を読みたいと思います。

### 〈当日の様子〉



## 世人やお加盟団体の八尾市人権啓発推進協議会が人権宣言を作成されました。

八尾市人権啓発推進協議会では、「地域が育む、人権文化のまちづくり～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～」をスローガンに人権啓発を推進されていますが、今回新たに具体的な行動目標を作成し、「人権宣言」とされました。

### 八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言

#### 地域が育む、人権文化のまちづくり ～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～

わたしたちがくらす八尾市には、生まれも育ちも文化もさまざまな人がくらしています。

わたしたちは、誰もが安心して幸せにくらすことを願っています。

人との出会いにより新たな価値観を広げ、人生を豊かにし、差別がないまち“地域が育む 人権文化のまち 八尾”の実現をめざして、ここに宣言します。

1. あなたもわたしも“たいせつな”ひとり
1. 知って、学んで、たしかめましょう
1. あらゆる差別をなくしましょう
1. 人権の“わ”をみんなで広げましょう
1. 人権について、他人事ではなく、自分事として考えましょう

## 白根さんと考えよう！ 世界の人権49

国際NGO「CCPRセンター」「ISSYO」所属 白根大輔

### 徴兵制度

ミャンマー軍は、今年2月、2010年に制定された徴兵法を2024年4月から施行し、少なくとも毎月5千人、年間5万人を徴兵する計画であることを発表しました。この法律は18歳から35歳までの男性および18歳から27歳までの女性全てに少なくとも2年の兵役義務を課するというものですが、制定はされたもののこれまで施行はされてきませんでした。2021年のクーデター以来、内戦状態に陥っているミャンマーでは、昨年後半からミャンマー軍と、軍・軍政に対する様々な民間勢力との武力衝突が各地で増加・激化し、ミャンマー軍側の敗北やミャンマー軍兵士の民間勢力側への離反などが数々報告されている中での発表でした。軍は正当な理由なく兵役義務を逃れようとする人には3年から5年の懲役を課す、ともしています。徴兵対象となる若者、その家族の間には泥沼化する戦闘の中、暴力、殺人、深刻な人権・人道侵害に巻き込まれる不安が急激に高まり、当然の如く、どうにか徴兵を逃れようとする人が急増しました。就学や就職など合法的なルートで国外へ逃れようとする若者が多くいる一方、そのような資源や選択肢の無い人には潜伏や非正規移住、または民間抵抗勢力側に加わるなど、リスクの高い道しか残っていません。一方、なんとか徴兵を押し進め、兵力を維持しようとする軍側は、強行的な措置をとるようになり、空港や路上での恣意的逮捕や諸施設の手入れ、あからさまな拉致・誘拐など、徴兵対象となる若者を強制連行しているという報告が多くあります。さらに

市民権を拒否され長年差別や人権侵害の的となってきたロヒンギャの若者の中には、市民権を与えるという軍の虚偽の約束に従い兵役についた人も多数おり、報道によれば、3月から4月の間に、何らかの形で約5000人が徴兵されています。

背景や文脈は全く異なるものの、ウクライナでは今年5月、25歳から60歳までの全ての男性市民に対し、徴兵の準備段階として、選挙者データベースに詳細情報を登録することを求める新たな法律が制定されました。ロシア侵攻が始まり2年以上がたった現在、長引く戦闘と過酷な戦況、そして増える死傷者の中、兵力の確保は緊急問題になっていますが、自発的に兵役に就く人は減っています。ウクライナでは徴兵を逃れようとする人に対してミャンマーのような懲役罰は課されていないようですが、データベースへの登録をしていない人を探索する「徴兵部隊」が結成され、義務のある男性がしっかりデータベースに登録しているかを確認するため、路上や駅等公共諸施設、バスその他公共交通機関などで抜き打ちチェックが行われています。ただ地域によってはこの徴兵部隊に見つかり、そのまま徴兵センターへ連れて行かれた人がいるという報告もあります。

また、イスラエルでは今年6月末、最高裁判決が、これまで長い間兵役から免除されてきた、全時間制ユダヤ教神学校の男性学生も徴兵されなければならないという判決を下しました。ガザ地区侵攻、ハマスやヒズボラとの戦闘の中でイスラエル軍に死傷者が増え、徴兵による兵力負担が社会問題となっている中での決定でした。ただ現在のネタニヤフ連立政権では、ユダヤ教神学生の徴兵免除を最優先事項とする政党が、その存続の鍵も握っていますし、この判決を受けた政府の対応はまだわかりません。イスラエル議会が、7月末の休会前までにこの最高裁判決を無効にする行為を取る可能性もあります。兵役免除措置が採択された1949年当時、

約4百人ほどいたとされる免除対象学生数は今日、イスラエル最高裁に提出された資料によれば6万3千人にのぼっています。

2024年6月現在、国連加盟国196カ国のうち、少なくとも60数カ国に徴兵制度が存在しています。このうち、10数カ国の徴兵制度は法律上存在するだけで、実際は自発的に軍に加わる

人が十分にいるなどの理由で厳密に施行されているわけではありませんし、他にも非武装・非戦闘員としての奉仕を代替として併用している国もあります。しかし不安定な情勢の中、有事となった時、どれだけの人が兵役に就かねばならないのか。徴兵制度のない国はもちろんです。徴兵制度が社会的な議論や問題になっていないところはまだ幸運な方なのでしょうか。



今回のおすすめ本は、一年ほど前に一話を無料配信で読んだ時、思わずある人にシェアしてしまったマンガです。彼女からは「私、小林君と同じだ みんなが普通にできることができなかったもん（中略）宇宙を歩く。どこへ行くのかわかんないけど歩く！」と速攻で感想が送られてきました。最近、久々に会った時も「2巻目出たねー」としばし話題に…。

その本は『君と宇宙を歩くために』です。

勉強できない、バイトも続かない高校生の小林君のクラスに転校生が来ます。転校生は、声が大きくて、独り言を言っていて、常にノートを持っているちょっとヤバい（と周りの生徒が言っている）宇野くん。小林くんは、ひよんなことから宇野くんと接点ができて、宇野くんのノートの秘密を知ります。

そのノートは宇野くんが、わからないことだらけの世の中（宇宙）を歩いていくための命綱（テザー）でした。

その宇宙を生きていくための工夫を知って「すげーな宇野って」と思う小林くん。

そして、彼も彼の宇宙の歩き方を模索していきます。

そうやって小林くんが変わろうとしたことか

ら、バイト先ではマニュアルが作成されます。バイト先の人、天文部の先輩もそれぞれの思うところがあって、それぞれに困っていることがあることもわかって、それを出していくことで環境が少しずつ変化していきます。

バイトして、友達と遊んで、勉強にも手を付け始めた小林くんをみて、宇野くんは思います。「小林君はなんでもできる すごいなあ・・・」リスペクトしあえる彼らがすごいなあ。

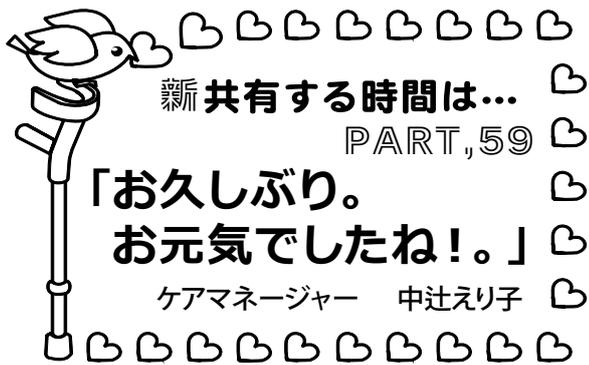
「小林くんは、私だ」と言った彼女のように、登場する人たちの誰かに自分や、周りの人を見つけてしまうかもしれません。（ちなみに彼女は、私から見るといろんなことに造詣が深くて探求心と行動力抜群の人です。）

これから、彼らはどう成長していくのでしょうか。彼らの宇宙の歩き方をこれからも見守っていきたいと思える作品です。

私も宇宙を歩いていきましょう。私のテザーを携えて。



君と宇宙を歩くために  
泥ノ田犬彦 著  
アフタヌーン KC 講談社



2020年（令和2年）からは新型コロナウイルス感染症の波が続ききました。昨年（2023年）5月に感染症としては2類から5類（インフルエンザと同等）に移行になったことで、とどまっていた人の動きや経済活動が活発になりましたが、感染が終息したわけではなく、細心の注意は今も必要です。

昨年は、中止を余儀なくされていた社会活動・行事や祭りが4年振りに再開されることが多くありました。“八尾の祭り”のふとん太鼓やだんじりの祭りでは、はっぴを新調した地域、地域文化財総合活用推進事業の補助も受けてふとん太鼓の修復が行われた地域がありました。祭りの再開時期も地域の判断で違いがあり、子ども会の減少や高齢化で祭りが開催できない地域も出てきています。

そして今年。5年振りに「やおの祭まっぷ2024夏号」を発行することになりました。祭りの開催日程は毎年変わらず決まっているまちと、（土・日）開催で、その年により日程が違うまちがあります。昨年は掲示板や祭り当日の様子で確認していたのですが、まっぷ発行には、確実な確認が必要です。祭り時の前にまちの様子を見に行っています。もう祭りの幟が立っていたり、掲示板に祭りの表示をしているまちもありました。訪ねていくことは、緊張もしますが、楽しみでもあります。初めて会う町会長さんや神社の総代さんに会っても、「以前に『祭まっぷ』を見たよ。」と言ってくれる方、祭り時にしか会わない方でも「久しぶりやね。来てくれたんか。」と言って下さる方がありました。「もう役員はしていないが…」と、一緒に新役員さんのお宅まで行ってくださった方も。

必ず伺う一人暮らしの女性の方二人のお宅を訪ねました。お一人

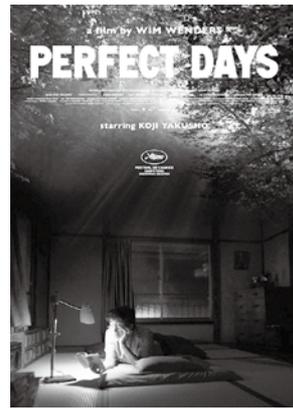
目。長年神社の世話をしてくられた方。玄関外には前回訪問時と同じ、バンダナ風のハンカチが棒につけられています。すぐにインターホンの返答がありました。玄関内でのおしゃべりでは、扇風機を出してくれて、正座が出来てとお変わりない様子です。元気な声が出ていました。今も要支援1で歩行器を押して、買い物に出かけているとのこと。祭りのこともよくご存じで、すぐに役員さんにも電話をかけてくれて、祭りの日程を確認してくれました。85歳になったとのこと。眼鏡なくスマホを操作しておられました。お二人目。門扉は少し開けられています（今日も元気を知らせています）。インターホンを押すとすぐに出てきてくれました。5年振りでしたが、やはりお元気。まちのことで色々と世話をしていたおつれあいが亡くなった後も、まちの様子を良くご存じです。神社の祭りではなく、まちの夏祭りの地域です。祭りの日程・時間帯も確認できました。まちでは、今も祭り時他、年末の餅つきの行事にも戻ってくる方も多いのだとか。来年90歳になるとのこと。今年の年末（餅つき会）に伺うと声をかけました。

他の地域でも、神社やまちの掲示を確認したあと、近くのお宅で自治会長さんや、役員さん宅を教してもらったりして出会いを重ねながら、出来る範囲での確認が終了。他仲間からの情報も合わせて、祭り情報をまっぷ作成の仲間と最終確認をして、今年の「やおの祭2024」夏号作成・印刷へと託しました（発行日7/1）。秋祭りの情報は、現在の時点でわかる情報を載せています。今年の“八尾の祭り”情報は、来年の関西万博出展の八尾市からの発信情報の資料ともなる予定です。

今年の夏祭りも教興寺祭り（岩戸神社（天照大神高座神社））（7/6・7）から始まります。「八尾の祭りまっぷ」を手に、「八尾の祭り」へお出かけください。



ママにおしやべり  
シネマ vol.57



PERFECT DAYS (2023年 ドイツ 日本)  
監督/ヴィム・ヴェンダース  
主演/役所広司

**K:**「THE TOKYO TOILET」の作業服を着て渋谷区にある公共トイレの清掃を担当する平山（役所広司）。同じように繰り返される毎日だけど、彼は空を見上げてときどき嬉しそうなんだよね。仕事は正確で丁寧、いつも利用者ファーストだし彼に任せれば間違いなく安心。自分のルーティンで暮らし、仕事もプライド持って楽しく働けたら最高だよ。

**E:** 最高かどうかは平山さんに聞くとして、使っていない時は中が丸見えとか、有名な建築家やクリエイターが制作したオシャレなトイレはニュースにもなった。でもドイツの監督がプロジェクトに賛同して清掃員が主役の映画になるとは意外だったな。

**K:** スカイツリーがよく見える都会の真ん中なのに、彼の日常はかなり昭和でワケありな暮らしぶり。古い木造アパートで苗木を育てたり、本棚にずらりと並ぶ本。お宝になりそうなミュージックテープ。携帯電話は仕事用。朝早く出掛けて仕事終わりは銭湯へ。休みの日はコインランドリーと古本屋、夕食は浅草地下街のお店、ってこの雰囲気、憧れるなあ。

**E:** 気になるのは彼の心象風景、いつもモノクロだったね。家族はいなくても居場所はある。自分のペースで働いて、好きな音楽と本に囲まれて、馴染みの店もある。寡黙だけど、他人に関

心がないワケじゃない。よく見かける人には自分から会釈してたし、初対面のおじさんと影踏みもできる（笑）。

**K:** 確かにいろんな人が出てきて楽しめた。いつも一緒に仕事してたのに突然辞めると電話で言ってくるタカシ、タカシの幼馴染み、歌が上手いスナックのママ（本物でびっくり）。

久しぶりに会った姪のリコとの距離感も心地よかった。冒険を提案されて「今度ね」と応えると「今度っていつ？」…でも「今度は今度、今は今」で、ふたりは通じるんだなあ。

**E:** 変わった人、違う世界の可哀想な人と思う人もいるかもしれない。でも彼は他の人が見えない世界を知っている豊かな人なのでは。彼は今日も朝日に微笑み、丁寧な仕事を終えると銭湯の湯船にゆっくり肩まで浸かっていることだろう。父との確執を思わせる過去は変えられないけど、いろいろ抱えながらも生きて新しい日を迎える。

**K:** それにしても渋いねえ、役所さん。朝の缶コーヒーでスタートが似合いすぎ。風に揺れる木洩れ陽の風景も、それを愛でる佇まいも味わい深い。

**E:** おやおや最初のゆっくりした展開で寝そうになってなかったっけ（笑）。



# 勝手にきまってる

79

<今の障害者福祉制度に再びもの申す>

池谷 麻幸

精神障碍の特性とは一体何か。

例えば精神障碍と身体障碍は同じ「障碍」と言ってもその表れ方は全然違うと思う。

身体障碍の場合は、その人の思考傾向考える傾向が特に損なわれるわけではないと言っても良い。単に、幻聴があるとか妄想があるとか言っても、それが単なる空耳で、自分でそれは本当に聴こえているのではない、あるいは誰かが実際に言っているのではないということがはっきり分かっているならば、そんなに苦しかったり社会生活が出来なかったりするわけではないと思う。ところが精神病で幻聴がある場合には、その幻聴に自分の考えや行動が左右されて、それらに生活が支配されてしまう。そうすると、普通の社会生活が出来ない。

例えばテレビを観ている時に、そこに映っている歌手がこちらを見てスマイルをすると、その微笑みは自分自身に向けられていると勘違いしてしまう。それが昂じてその歌手が実際に自分に恋していると思ひ込んだり、あるいは逆にテレビの中のことが自分を悪く言っているような妄想を信じ込んでテレビに腹を立てて壊してしまったりする。単に勘違いや思い違いではなく、頭の中が自分の妄想に支配されてしまっている。そうすると、ある人が自分を悪く思っているという妄想に基づいて人を攻撃したり、あるいは実際にナイフで人を刺したりしてしまう。そうなったら、社会生活は不可能である。

身体障碍の場合は社会生活は送り辛いと言っても、松葉づえや車椅子などの物で補えるが、精神障碍の場合は、その妄想を治すことはかなり難しい。だから、身体障碍と精神障碍は特性がかなり違うので、3障がい合同と言って障害者総合支援法のようなものを作っても、現実の精神障碍には対応しづらい。3障がい合同というと聞こえは良かったが、民間の現場に面倒なことを押し付けているだけである。官僚や公務員は現実の精神障碍が分かっていない。官僚がそうだから、一般市民は更に知らないだろう。

厚生労働省はその現実を知っているはずだが、それに目をつむって大衆の不満をなだめているだけである。行政は、職員も代わるし、専門分野に対応する立場であっても精神障碍のことはほとんど知らない人が多い。何回行政に言っても理解が進まない。

もう一度今の障害者総合支援法を根本的に見直すべきではないか。現に就労継続支援A型などはもう破綻している。

手やしんじゅ  
まちがいさがし  
27

世人やお的世界人権宣言第28条。「夢ではおわせません」左の絵が正解。右の絵は、まちがいが5つあります。探して事務局まで送ってくださいネ。

正解者には、世界人権宣言八尾市実行委員会オリジナル缶バッチプレゼント！➡



私たちは、ここで約束された「けんり」と「じゆう」をあきらめないで、宣言どりの世界に生きていく権利があります。



● ● I N F O R M A T I O N ★ ● ●

- ★ 人権基礎講座～こどものけんり～ 場所：プリズムホール4階会議室 時間：18時半～20時半
  - 8/2（金）第1回「境界線」をこどもの権利から考える 講師：鴻巣麻里香さん
  - 9/12（木）第2回 こどもアドボカシーについて考える 講師：中村みどりさん
  - 10/17（木）第3回 遊んで育つこどもの力 講師：根岸基子さん
  - 11/6（水）第4回 「社会の中のこども」いじめの背景とおとなの意識 講師：栗本敦子さん

- ★ 8/31（土）NPO 法人トッカビ 50周年記念式典・記念イベント  
場所：プリズムホール5階レセプションホール 時間：式典 11時～12時 イベント 13時～14時半

- ★ 9/7（土）2024年度世界人権パネル展  
場所：アリオ八尾2階オレンジコート 時間：10時～17時

- ★ 10/3（木）第1回人権啓発セミナー兼第2回養成講座  
インターネット上の人権～若者とSNS～ 講師：今井紀明さん  
場所：プリズムホール小ホール 時間：14時～15時半

■世界人権宣言八尾市実行委員会（世人やお）は、人権尊重のまちづくり、ネットワークづくり、市民活動支援を目的に活動しています。活動に参加して下さる、また支援して下さる会員を募集しています。詳しくは右記へご連絡下さい。

- 団体会員：年額1口 5000円
- 個人会員：年額 2000円

〒581-0004 八尾市東本町3-9-19-312 八尾市人権協会  
世界人権宣言八尾市実行委員会 TEL072-924-9853

Eメール oyaoya@oyaoya.org